

大阪湾ベイエリアの開発整備について

1. 大阪湾臨海地域の現状

(1) これまでの大阪湾臨海地域

- ・港湾機能や重化学工業を中心とする生産機能の集積
- ・産業構造の変動等に伴う工場等の遊休化
- ・レクリエーション・アメニティ機能の不足

⇒ 臨海地域の活力の低下

(2) 最近の大阪湾臨海地域における開発の傾向

①先端研究・産業施設の展開

- ・プラズマディスプレイ工場の立地（尼崎市）
- ・太陽電池工場の立地（貝塚市）
- ・医療関連企業の集積（神戸市）

⇒ 産業のリノベーション

②都市サービス施設の充実

- ・大型商業施設の立地（泉南市、堺市）
- ・芸術文化センターの立地（西宮市）

⇒ 多様な土地利用の展開

③環境の創造・保全

- ・大阪湾の再生・森の整備（尼崎市、堺市）

④交通・物流基盤の整備

- ・神戸空港の開港
- ・関西国際空港2期供用開始予定（平成19年）
- ・スーパー中枢港湾の整備（神戸港・大阪港）

○民間等施設立地の動き

工場	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
立地件数 (件)	52	76	73	78	87	118	131
敷地面積 (千m ²)	474	476	624	561	817	1,293	1,195

資料：工場立地動向調査

注：大阪府、兵庫県、和歌山県の三府県における施設立地

(3) 今後の大阪湾臨海地域

- ・臨海部全体の物流・人流拠点としての機能の向上
- ・大阪の経済・産業を先導する産業創生の場
(先端技術開発機能や高付加価値型工場)
- ・複合的市街地の形成
(快適な居住空間の形成や、にぎわい、集客・観光の拠点づくり)
(「大阪市基本計画 2006-2015」より)

2. 大阪湾臨海地域開発整備法（ベイ法）の概要

（1）背景・目的

①背景

- ・産業構造の変化等に伴う工場等の敷地の遊休化や臨海地域の人口流出による地域の活力低下
- ・関西国際空港の建設を契機とした大規模プロジェクト等による開発の気運の高まり

②目的

大阪湾臨海地域及びその周辺の地域における活力の向上を図り、もって東京圏への諸機能の一極集中の是正並びに世界及び我が国の経済、文化等の発展に寄与すること。

（2）概要

①対象地域

- ・大阪湾臨海地域（大阪府、兵庫県及び和歌山県の37市 2,860km²）
- ・関連整備地域（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び徳島県の189市町村 18,523km²）

②計画・事業

- ・基本方針（策定：国）、整備計画（策定：7関係府県知事・3政令市長）
- ・大阪湾臨海地域整備計画において17開発地区が位置づけ

（3）主な経緯

昭和63年 第四次近畿圏基本整備計画

平成元年 （社）関西経済連合会「グレーター・ベイエリア・ルネサンス構想」発表

大阪湾ベイエリア開発推進協議会（7府県知事、3市長、経済団体、学識経験者）発足

平成3年 大阪湾ベイエリア開発推進協議会「大阪湾ベイエリア開発整備のランドデザイン」発表

平成4年 「大阪湾臨海地域開発整備法」公布・施行

平成5年 「大阪湾臨海地域」及び「関連整備地域」の指定
「大阪湾臨海地域及び関連整備地域の整備等に関する基本方針」の決定

平成7年～10年

「大阪湾臨海地域整備計画」及び「関連地域整備計画」関係府県市による策定

平成9年 「なぎさ海道」推進会議設立

平成10年 国際健康開発センタービル（神戸東部新都心地区）完成

平成12年 淡路夢舞台（淡路島国際公園都市地区）完成

平成13年 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（此花西部臨海地区）完成

平成17年 兵庫県立芸術文化センター（西宮北口駅周辺地区）完成

(4) 進捗状況

現整備計画では 42 の中核的施設が計画され、その 9 割弱が公共・三セク主体による整備。現在 28 施設（全施設の 67%）が完成。

公共、民間による整備は 8 割以上の整備率であるが、三セクのみ 5 割強の整備率に留まっている。

①中核的施設の整備状況

		公共	三セク	民間	計	民間の割合
計 画	研究	4	3	2	9	
	展示・会議場・交流	7	7	1	15	
	スポーツ・レクリエーション	3	6	1	10	
	業務・教養文化・交通	2	5	1	8	
	計	16	21	5	42	12%
整備済 (計画の 内数)	研究	2	2	1	5	
	展示・会議場・交流	7	3	1	11	
	スポーツ・レクリエーション	2	2	1	5	
	業務・教養文化・交通	2	4	1	7	
	計	13	11	4	28	
整備率		81%	52%	80%	67%	

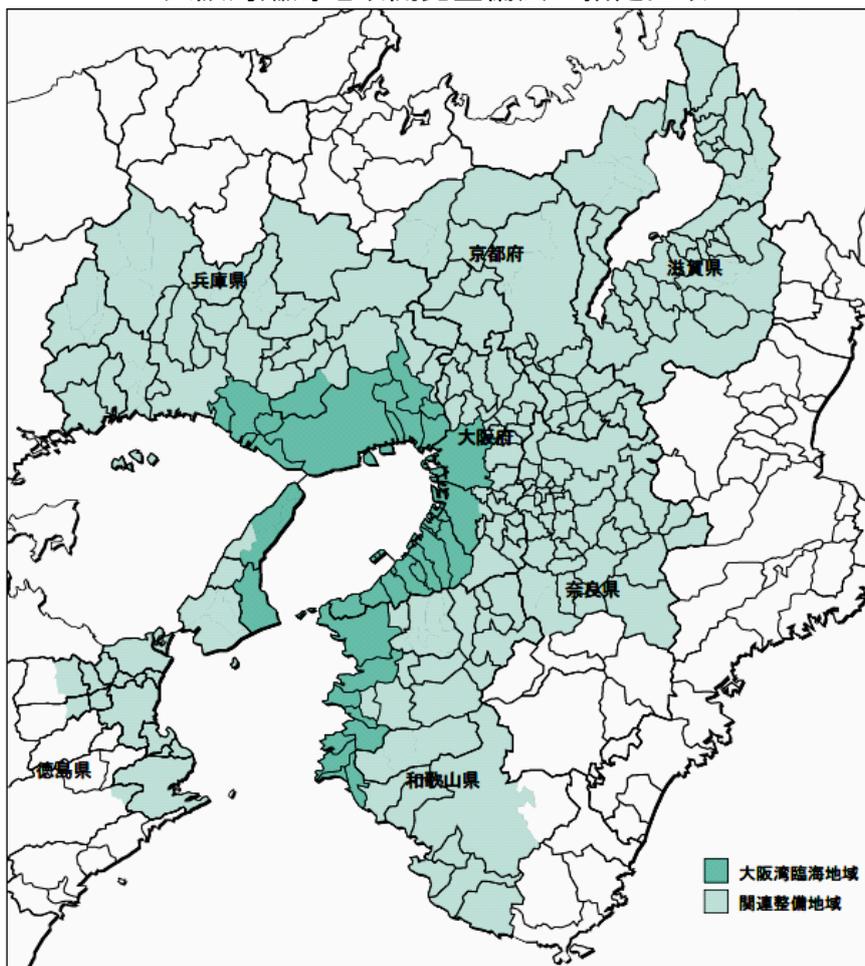
②完成年別施設数

完成年	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	計
公共		1	1	1	2	2		2	1			1	2	13
三セク	1		1	4		2	1	1	1					11
民間				1				1		1		1		4
計	1	1	2	6	2	4	1	4	2	1	0	2	2	28

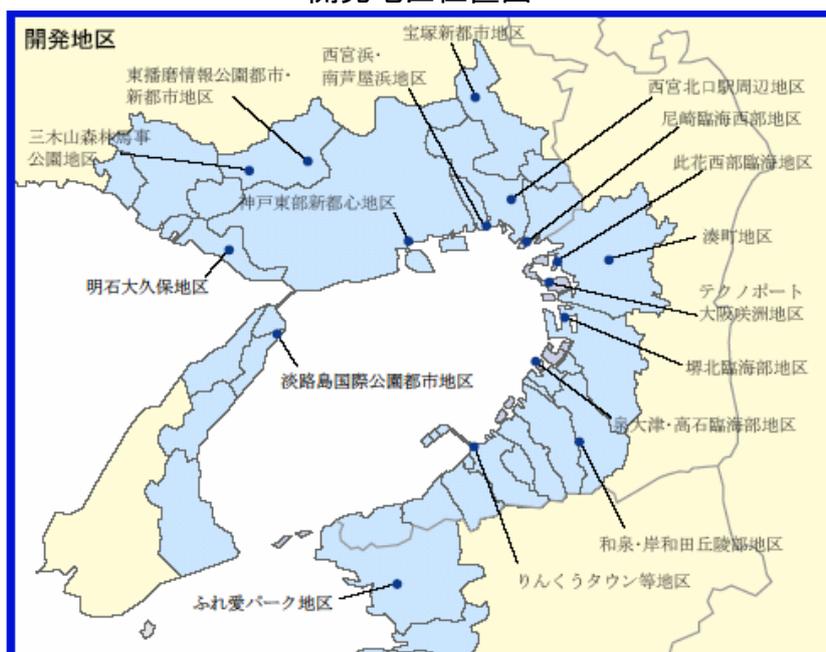
③これまでに税制・政策金融上の支援を受けた中核的施設

- ・大阪シー・エアターミナル <O-CAT> (交通施設/H8 開業)： 事業所税
- ・国際健康開発センタービル (研究施設、交流施設、業務施設/H10 開業)： 融資、NTT-C 無利子貸付
- ・淡路夢舞台 (交流施設/H12 開業)： 融資
- ・ユニバーサルスタジオジャパン <USJ> (交流施設/H13 開業)： 事業所税、融資、NTT-C 無利子貸付

大阪湾臨海地域開発整備法の指定区域



開発地区位置図



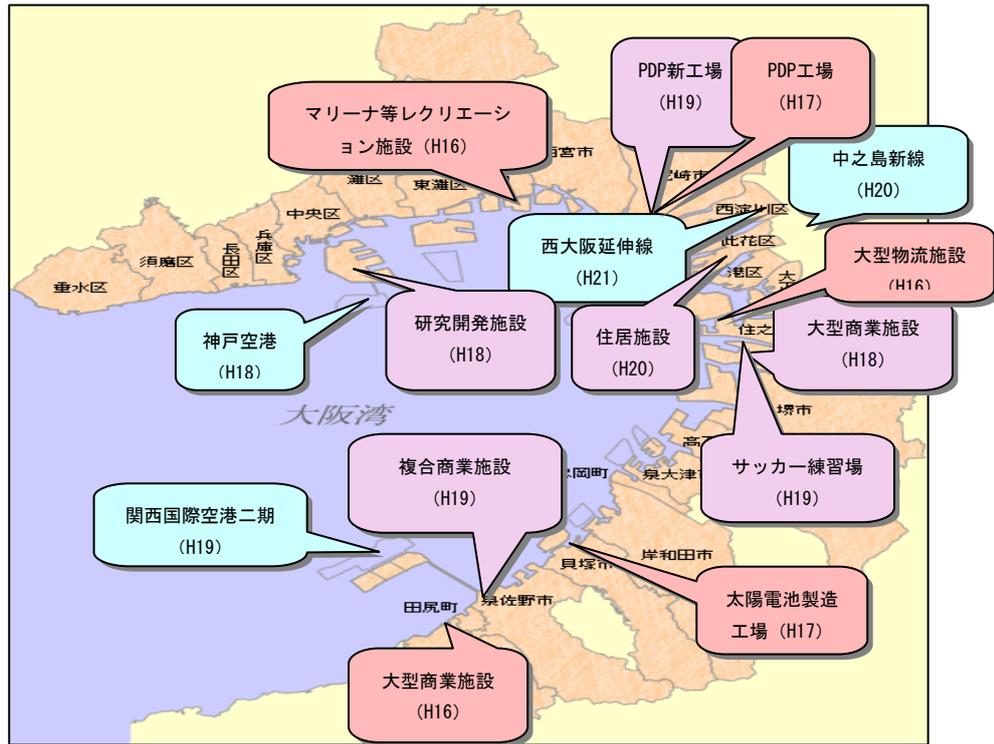
中核的施設の整備状況

●…完成済施設

(平成18年4月1日現在)

府県市名	開発地区名及び中核的施設名	種 類	整備状況		
大阪府 H8.12.9 計画承認	①堺北臨海部地区 ・国際マリーナ(マリーナ・コンプレックス) (3セク) ・マリーナ関連施設(マリーナ・コンプレックス) (3セク) ・医療関連研究・研修センター(健康・医療コンプレックス) (民間) ・国際級スタジアム(健康・医療コンプレックス) (3セク) ・環境に関する研究・教育センター (公共) ・国際文化・商業施設 (3セク)	スポレク施設 スポレク施設 研究施設等 スポレク施設 研究施設 交流施設	未定 未定 未定 未定 未定 未定		
	②泉大津・高石臨海部地区 ●堺泉北港ポートサービスセンタービル (3セク)	業務施設	H8完成		
	③りんくうタウン等地区 ●りんくうゲートタワービル (3セク) ●りんくう国際物流センター (3セク) ●りんくうエルガビルディング (民間) ・旅客センター(仮称) (3セク) ●ミーティング・コンファレンスセンター (民間) ●国際交流基金関西国際センター (公共) ・泉佐野フィッシャーマンズ・ワールド (3セク)	会議場施設 交通施設 業務施設等 交通施設 展示施設 会議場施設 スポレク施設	H8完成 H8完成 H8完成 未定 H12完成 H9完成 未定		
	④和泉・岸和田丘陵部地区 ●大阪府立産業技術総合研究所 (公共)	研究施設	H8完成		
	兵庫県 H9.5.16 計画承認	⑤尼崎臨海西部地区 ●尼崎リサーチ・リサーチ・インキュベーションセンター (3セク) ●尼崎リサーチ・近畿高規格加工技術研究所 (公共) ●尼崎リサーチ・R&D棟 (民間) ・あまがさきワールド(仮称) (3セク)	研究施設等 研究施設 研究施設 交流施設	H5完成 H6完成 H14完成 未定	
		⑥西宮北口駅周辺地区 ●兵庫県立芸術文化センター (公共)	教養文化施設	H17完成	
		⑦西宮浜・南芦屋浜地区 ●新西宮ヨットハーバー (3セク) ●ベルポート芦屋 (民間)	スポレク施設 スポレク施設	H10完成 H16完成	
		⑧宝塚新都市地区 ・花と緑の生活遊園(仮称) (公共) ・自然環境情報センター(仮称) (公共)	スポレク施設 研究施設	未定 未定	
		⑨明石大久保地区 ●明石市立産業交流センター (公共)	展示施設	H10完成	
		⑩東播磨情報公園都市・新都市地区 ・国際情報通信関連技術者養成センター(仮称) (3セク) ●兵庫県立広域防災センター (公共) ●三木総合防災公園 (公共)	研究施設 防災施設等 スポレク施設	未定 H16完成 H17一部完成	
		⑪三木山森林馬事公園地区 ●三木山人と馬とのふれあいの森公園(三木ホースランドパーク) (3セク)	スポレク施設	H11完成	
		⑫淡路島国際公園都市地区 ●国営明石海峡公園(淡路地区) (公共) ●淡路夢舞台・国際会議場、温室、野外劇場等 (公共) ●淡路夢舞台・交流施設 (3セク) ・日仏友好のモニュメント (3セク)	スポレク施設 会議場施設等 交流施設 交流施設	H13年度末一部開園 H12完成 H12完成 未定	
		和歌山県 H9.9.5 計画承認	⑬ふれ愛パーク地区 ●和歌山ビッグホエール (公共) ●和歌山ビッグ愛 (公共)	交流施設 会議場施設等	H9完成 H10完成
			大阪市 H7.5.24 計画承認	⑭テクノポート大阪咲洲地区 ●大阪ワールドトレードセンタービル(WTC) (3セク) ●ふれあい港館 (設置公共:運営3セク) ●海洋博物館(なにわの海の時空館) (設置公共:運営3セク)	業務施設 交流施設 教養文化施設
⑮此花西部臨海地区 ●ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (3セク)		交流施設		H13完成	
⑯湊町地区 ●大阪シティエアターミナルビル(OCAT) (3セク)		交通施設		H8完成	
神戸市 H8.12.9 計画承認	⑰神戸東部新都心地区 ●国際健康開発センタービル (3セク) ・ヘルスケアパーク(仮称) (3セク) (平成10年4月21日中核的施設の追加変更承認による)	研究施設等 展示施設等		H10完成 未定	

大阪湾ベイエリアにおける民間立地の動き



民間マリーナ
ベルポート芦屋 (芦屋市)



松下電器PDP (プラズマディスプレイパネル)
製造工場 (尼崎市) ※中央の白い建物



大型物流施設
プロロジスパーク大阪 (大阪市)



商業アミューズメント施設
堺浜シーサイドステージ (堺市)

大阪湾臨海地域開発整備の変遷について

時 期		S61～H4 (構想期)	H5～H13 (構想・実現期)	H14～ (再生・発展期)			
分 類							
大 阪 湾 臨 海 地 域 の 状 況	大阪湾臨海地域開発整備法（ベイ法）に基づく主な立地施設	「大阪湾臨海地域開発整備法」公布・施行（注）					
	上記以外の主な立地施設				<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西国際空港工事着手（S62） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎リーチコア（H6） ・ 大阪ワールドトレードセンタービル（H7） ・ 大阪シティエアターミナルビル（H8） ・ 国際健康開発センタービル（H10） ・ 淡路夢舞台（H12） ・ ユニバーサルスタジオジャパン（H13） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県立芸術文化センター（H17） ・ 三木総合防災公園（H17）
	整備における課題と方向				<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨海部の造成の完了による土地利用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西国際空港開港（H6） ・ 阪神高速湾岸線開通（H6） ・ 明石海峡大橋開通（H10） * 神戸医療産業都市構想の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生科学総合研究センター（H14, 神戸） ・ 松下電器産業PDP工場（H17, H19, 尼崎） ・ 神戸空港開港（H18） ・ 関西国際空港Ⅱ期（H19）
関連事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4次近畿圏整備計画（S63） ・ 近畿圏の相対的地位の低下 ・ 近畿圏の新たな発展に対する機運の高まり ・ 大阪湾ベイエリア開発推進協議会発足（H1） ・ 「大阪湾ベイエリア開発整備のグランドデザイン」発表（H3） ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務中枢機能の移転流出 ・ 民間主体の開発整備が停滞 ・ 3セク施設の低迷 ・ ベイ法のインセンティブが機能せず 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業業績及び雇用情勢の改善 ・ 都市再生プロジェクト等の活用 ・ 工場等制限法の廃止（H14） ・ 都市再生特別措置法の制定（H14） ・ 構造改革特別法の制定（H14） ・ スーパー中枢港湾の指定（H16） ・ 地域再生法の制定（H17） 				
景気動向	<p style="text-align: center;">(バブル景気) (バブル景気の崩壊) (景気悪化) (景気停滞) (緩やかな景気回復基調)</p>						